

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-28



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者からの要望で始めた「東京都にある大学の学食めぐり」です。最近是一般の人も食べられる学食が増えています。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。学食のメニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないよう注意したいです。今回は東急東横線に「都立大学」、「学芸大学」として二つの駅名が残る国立大学と公立大学を夏休み前に訪問しました。最寄り駅は代表例です。

【首都大学東京 南大沢キャンパス】

八王子市南大沢 1-1 最寄駅 京王相模原線 南大沢駅

首都大学東京は東京都大学改革構想に基づき、平成 17 年（2005 年）4 月都立の 4 つの大学「東京都立大学」、「東京都立科学技術大学」、「東京都立保健大学」、「東京都立短期大学」を再編・統合して新たに発足しました。主導は当時の石原慎太郎都知事です。日本で唯一「大学」の語が末尾につかない大学ですが、最近、認知度が不足との声が学生からも上がり、小池百合子都知事は都立の大学として名称の変更も検討されたいと言いついています。

現在は人文社会学、都市環境学、システムデザイン学、健康福祉学、経済経営学、法学、理学部を擁しています。南大沢キャンパスは全学部の学生が学び、他に日野キャンパスと荒川キャンパスがあります。新宿から準特急で約 47 分で南大沢駅に到着。山を切り開いたニュータウンの姿を見て、平成 6 年公開のアニメ映画「平成狸合戦ぽんぽこ山」を思い出しました。多くの狸が楽しく暮らしていた多摩丘陵が多摩ニュータウンの建設となり、狸たちが開発阻止で戦うお話です。最後は機動隊が出てきて狸達は敗れます。人間に化けて抵抗する狸もいました。（当時、人をだますと「お前は多摩の狸か？」と疑われたとか）多くの狸は多摩の地を追われ、神奈川県に逃げ込んだそうです。

南大沢駅を出て右折、アウトレットパークの両サイドの洒落たお店を見ながら直進すると、正門（写真下左）に着きます。



写真上右を進むと、左手広場にモニュメント「空の目門（まど）」（写真下左）があります。正門からこの辺りは文系ゾーンです。（12棟）
モニュメントを右折し、アーケード（写真下右）からは交流ゾーンです。（6棟）



更に坂を上に進むと、国際交流館・広場（写真下左）があり、1Fが学食（生協食堂）（写真下右）です。ここは窪地になっています。



学食には美味しそうなメニューが多くありました。



目移りしましたが、写真左のおろしロースカツ 302 円、ライス中 97 円、冷奴 64 円、味噌汁 32 円を選びました。

平日営業時間は 11 時～19 時 40 分(一部のメニューは 11 時 30 分～) このキャンパスで専門の異なる全学部(人文社会学部、都市環境学部、システムデザイン学部、健康福祉学部、経済経営学部、法学部、理学部)の学生が切磋琢磨し合い勉強します。システムデザイン学部は 3 年生からは日野キャンパスへ、健康福祉学部は 2 年生から荒川キャンパスへ移ります。更に、上に上ると理工系ゾーン(写真下左)(8 棟)、

広い構内は静かな雰囲気でもあります。都市環境学部が作製したウッドデッキ(写真下右)がありました。



理工系ゾーンの終わり(かなり構内の奥)にもう一つの学食カフェテリア館(トムの食堂と売店)がありました。



理工系ゾーンの先はスポーツゾーン(4棟とグラウンド)なのか、営業時間は長く、平日営業時間は11時30分~14時30分、ディナー17時30分~20時30分もあります。売店は9時~20時です。



[東京学芸大学] 小金井市貫井北町 4-1-1

最寄駅 JR中央線 武蔵小金井駅からバス利用

大学公式サイトには『明治6年(1873年)東京府により「小学校教則講習所」(後の東京第一師範学校)を開設。昭和24年(1949年)東京第一師範学校女子部、東京第二師範学校、東京第三師範学校、

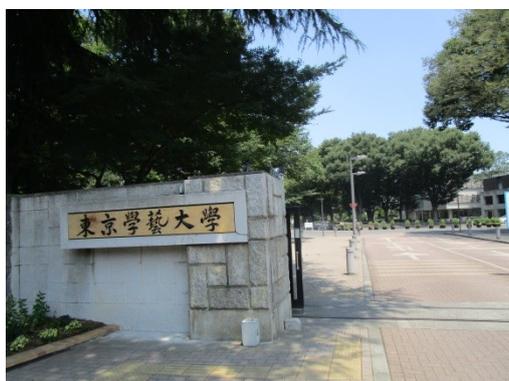
東京青山師範学校を母体に統合して東京学芸大学が発足、学芸学部を設置。昭和39年（1964年）キャンパスを小金井市に統合。

昭和41年（1966年）教育学部に改称。平成16年（2004年）国立大学法人化 国立大学法人 東京学芸大学となる。大学の目的は『人権を尊重し、すべての人々が共生する社会の建設と世界平和の実現に寄与するため、豊かな人間性と科学的精神に立脚した学芸諸般の教育研究活動を通して、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成すること』と記載。

武蔵小金井駅北口から6番バスで学芸大学正門前下車。正門までは桜並木、春には桜が見事です。構内に古い樹木が多くあります。



正門(写真下左)を入り、左に構内案内板があります。下には紙の案内図が「ご自由にどうぞ」です。構内は中央エリア、東エリア、西エリアに分かれています。東エリアには附属の幼稚園、小学校、中学校がありました。正門を入り、写真下右のケヤキ広場を右折します。



写真下左のケヤキ広場の先を右折、写真下右の先を左折します。



中央エリアの第一むさしのホール（第一学食）に到着、大学生協のメニュー棚です。期末試験で多くの学生が暑さをしのいでいました。



ヒレカツカレー（小）345円、ほうれん草のゴマあえ64円（写真下左）をいただきました。

写真下右は北門方面に進むと、西エリアの第二むさしのホール（第二学食）です。



写真下左は大学生協のメニュー棚（第一と若干違うメニューあり）、写真下右は冷やし担担麺、小鉢付（選択で小女子南蛮漬け）490円



多くの国立大学は、広い敷地と豊かな緑を有する勉強しやすい環

境です。しっかり学んで、国の将来を託す子供たちの教育をお願いしたい。

【こぼれ話】 武蔵小金井

年と共に大事なことはどんどん忘れていくのに、子供の頃の出来事でどうしようもないことを鮮明に覚えていることはありませんか？

寅次郎、中学生の頃、グループで旅行した中央線の車内での話です。宮本武蔵の話から「宮本武蔵は子供がいたか？」になり、皆で考えました。「お通さんという恋人がいたので、子供はいた」と、ませたA君が答えた時、若き日の寅次郎は通過する車窓を見て「今の駅は？」と言いました。「武蔵小金井」と鉄道に詳しいB君が答えました。若き日の寅次郎、「正解！武蔵には子供はいません」と答えました。

おそまつ様でした。（お使いになるのなら、タイミングが大事ですよ！ 手前は東小金井駅ですから・・・）

今回は 東京の学食めぐり-29 です。

平野 寅次郎 拝